令和３年度授業改善推進プラン　数学科

大田区立大森第四中学校

１　昨年度の授業改善推進プランの検証

（１）　成果

＜第２学年＞

・図形領域における正答率は昨年度よりも増加し、目標値を大きく上回った。
・資料の活用領域における記述式の問題の正答率は目標値を大きく上回り、図形領域における記述式の問題の正答率は目標値をやや上回った。

＜第３学年＞

・関数領域における正答率は昨年度よりも増加し、目標値を大きく上回った。
・資料の活用領域における正答率は昨年度よりも増加し、目標値を大きく上回った。

（２）　課題

＜第２学年＞

・図形領域における正答率が他の領域に比べて低い傾向がある。また、記述の問題で無回答が多かった。

＜第３学年＞

・「データの分布」の単元の正答率が目標値を大きく下回った。
・関数の思考・表現・判断における問題の正答率が目標値を大きく下回り、無回答が多かった。

２　大田区学習効果測定の結果分析

（１）　達成率（経年比較）

	令和２年度結果	令和元年度結果	平成 30 年度結果
第１学年	標準スコアを上回っている。		
第２学年	標準スコアをやや上回っているが、昨年度よりも下がっている。	標準スコアをやや上回っている。 （第１学年時）	
第３学年	標準スコアを上回っているが、一昨年から２年続けて下がっている。	標準スコアを上回っているが、昨年度よりも下がっている。 （第２学年時）	標準スコアを上回っている。 （第１学年時）

（２）　分析（観点別）

①　第１学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

② 第２学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

③ 第３学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を大きく上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

３ 授業改善のポイント（観点別）

（1）第１学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図形領域の基礎、少数・分数の計算などの知識・技能が定着していない傾向があるので反復練習により定着を図る。また、実物教材、ＩＣＴ機器等を用いて、理解を深める工夫に取り組む。	記述形式で答える問題において正答率が低いので、論理的に考え、説明する能力を身に付ける指導を行う。また、考えを記述する機会を増やしていく。	日常生活を題材とした問題を扱い、問題解決に取り組む。既習事項を基に自分で問題を作る活動を取り入れていく。

（2）第２学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図形領域の基礎的な知識が定着していない傾向が見られるので、反復練習を行い知識・技能の定着を図る。また、具体物や実物教材、ＩＣＴ機器等を用いて、理解を深める工夫に取り組む。	記述形式で答える問題において正答率が低かったため、論理的に考え、説明する機会を授業の中で増やしていく。	単元毎に日常生活を題材とした問題を扱い、問題解決に取り組む。既習事項を基に自分で問題を作る活動を取り入れていく。

（3）第３学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図形領域の基礎的な知識が定着していない傾向が見られる。反復練習を行い知識・技能の定着を図る。また、ＩＣＴ機器等を生徒が用いることで、自身で理解を深めることができるようにする。	論証についての表現力に課題がある。証明を読む活動や証明を書く活動を積極的に増やすとともに，演繹的に思考する力を高める。	適宜小テストや確認テストを行い、問題解決に取り組む。記述をする活動を増やすことで主体的に取り組む態度を高める。